



## 巻頭

おろかなる者と 往(ゆ)くなかれ  
ただひとり 往くこそよけれ  
ただひとり行くとも  
あしきをばなさざるべし  
かの林中(はやし)の象のごとく  
求むること少なかるべし (法句經 330)

## 叙景 表紙を語る

コロナ禍のなかにあっても、春は確実にやってきます。身近な公園や小山にも、春の芽生えが広がり、林の色が変わっていきます。そんな林の小道を歩くと、心が安らぎ、気持ちが温かくなってきます。人は「自然」に帰ると言いますが、自然の営みを肌で感じながら、静かに歩く道は、いつか来た、なつかしい道を歩くような気がします。

## ◇新・法句經講義 65 ◇

<※ 「新・法句經講義」は、巻頭ページ掲載の法句經について解説しています。>

愚かな人と出かける位なら、一人で出かけた方がいい。ただし、一人だからといって、悪いことをしちやいけませんよ。林の中を進んでいく象みたいに、欲を出さずに行きなさい。だいたい、こんな内容の教えです。

一人で出かけるのは気楽ですが、少し寂しくもあります。「孤独のグルメ」という、ひとりで外食しているいろいろな店を紹介するTV番組がありますが、意外と人気があるようです。食事というと、家族や友だちとワイワイ騒いで楽しむもの、それが人の幸せみたいな定番を打ち破っていますが、人の幸せは食事の味だけではありません。そこが、弱点といえば弱点。いつも、幸せになりきれない主人公が、一人残っています。

コロナ感染対策のひとつとして、「孤食」が学校や職場で推奨されています。黙って、ひとりポツンと食事をする。感染症対策にはなっても、人との交わりのためには、はやく終わりにしたいものです。といって、悪い仲間とつるんで悪事を働いていい訳はありません。一人であること、また人とともにあることの意味を、コロナ禍のなか、改めて考えたいものです。

## 仏教豆知識 84 諦

諦(たい)は一般に、「あきらめる」という意味で使われる字ですが、「つまびらか」とも読まれ、仏教では「真理」「原理」を表す言葉、また「あきらかにする」という意味で使われます。お釈迦様は、その最初の説法(初転法輪)で、四諦(したい;苦・集・滅・道を悟る)という教えを説かれますが、この四つの「諦」(真理)が仏教実践の根本となります。神田寺の先々代住職・圓諦上人、先代住職・諦道上人とも、生涯この「諦」の字僧名とされました。

## < 主管所感 >

### 音の響く場所

友松浩志

西墓地に新しい建物が出来て、そこで法事をする方が多くなった。神田寺で法事をして墓参で墓地まで移動するのと比べて、当然便利になった。東墓地にもそんな施設があったらいいとは思いますが、今のところ土地も資金もないので、しばらくご辛抱頂きたい。この新しい建物は木造の小さなものだが、2階のホールは教会の礼拝堂のような雰囲気がある。木目の壁に囲まれて、窓は上方にしかない。音が響いて、お経の声がよく通る。キリスト教の教会には、ほとんど窓がない。明かり取りの窓にはステンドグラスがはめ込まれ、わずかな光がきらめいている。教会がそんな暗い、閉ざされた空間になったのには理由がある。それは、迫害の歴史だ。

ローマ帝国時代、初期のキリスト教徒は壮絶な迫害を受けた。カタコンベという地下の墓地はよく知られているが、祈りの場所も洞窟のような閉鎖空間だった。そして、そこで生まれた歌が、ヨーロッパ音楽の起源となった。祈りの歌が「聖歌」となり、楽器の発達とともに、多くの作曲家が作品をつくった。閉鎖空間によく響く、それがヨーロッパ音楽の伝統となり、今日でも「音楽ホール」といわれる場所は、ほとんど窓のない閉鎖空間となっている。

仏教寺院でも、大きなお寺の本堂だとよく音が響く。でも大抵は、畳に音が吸収されて響きが悪い。建物のづくりも開放的で、隠れて祈る場所ではない。多くの人が集まって、ともに祈りを捧げる場所である。日本の伝統音楽の世界でも、能の舞台など外に向かって開放的につくられている。音の響きは、あまり重視されない。

話がだいぶ横道にそれてしまったが、建物に続いて、西墓地に現在「合同墓」を建設中である。これも、今までの形にとらわれない、「樹木葬」風なものを計画している。また一部、ペットのお墓にも対応できればと思う。いろいろ工夫しながら、何より心が安らぐゆったりできる場所をつくってきたい。

## ◆ 自然のなかで ◆

### — 雪あそび・芝すべり —

コロナでさまざまな行事が中止されるなか、卒園間近の年長児には、出来るだけ豊かな経験をと願って、自然のなかに出かけて行きました。



神田寺幼稚園では、年末、越後湯沢に1泊2日で宿泊保育に

行き、雪あそびやそりあそびを楽しみました。幸い雪も適度にあつて、広々とした新雪のゲレンデで思い切りあそぶことができました。年末は感染状況も安定していたため、密にならない、様々な工夫をしながら、無事に過ごせました。



真理学園幼稚園では、1月に恒例の芝すべりに行き

ました。園から徒歩1時間ほどにある「お山」の公園には、巨大な芝の山があり、冬枯れの時期には絶好の芝すべり場になります。自分でつくったダンボールのソリをお尻に敷いて、初めは恐るおそる、慣れると大胆に、ダイナミックにすべり降りる子どもたちの歓声が響きました。

## ◆ 新年修正会 ◆



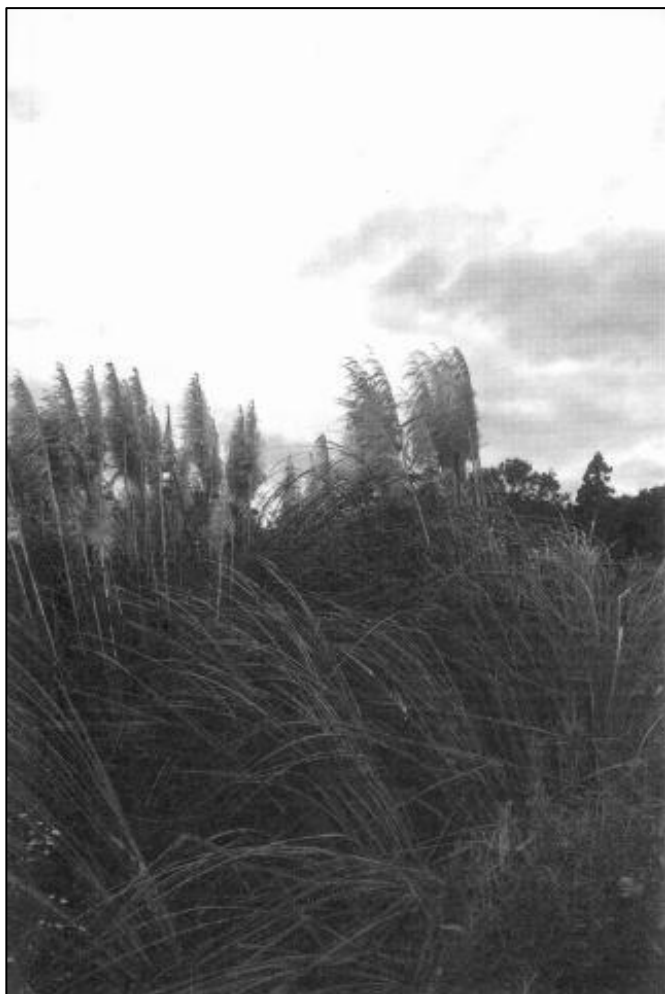
新年の幸せを祈る「修正会」(しゅしようえ)が、

元日午後2時から、神田寺の会堂で行なわれました。今年も数人のご参加でしたが、神田寺の勤行式で読経のあと、主管より新年のご法話がありました。「発願録」(ほつがんろく)に新年の抱負を記帳して頂き新鮮な気持ちで迎えるお正月になりました。

## ◆ 西墓地に合同墓建設 ◆

神田寺の西墓地に「合同墓」の建設が進められています。別院が出来、使用されなくなった旧入口の場所に、公園墓地形式で計画されています。一部、ペット墓地の区画も予定されています。3月末には完成の予定です。

(2022 年) 8 月 1 日発行



まこと

いろいろわしく

あでやかに咲く花に

香 (かおり) なきがごとく

善く説かれたる語 (ことば) も

身に行わざれば

その果実 (このみ) なかるべし

(法句経 51)

どんなにつらい夏の暑さも、秋の訪れとともに遠のくように、コロナの苦しみも一日もはやく去って行ってほしいものです。ともかく季節は、確実に秋に向かっていきます。気温が下がり、秋の植物が広がっていきます。いろいろな秋の行事が準備されていますが、そのひとつ一つが、無事に行なえることを心から祈ります。

## ◇新・法句経講義 66 ◇

<※ 「新・法句経講義」は、巻頭ページ掲載の法句経について解説しています。>

夏の暑さのなかに、色あざやかな花々が咲いています。だからといって、その花すべてに、いい香りがあるわけではありません。

お釈迦さまはそれをご存じで、そうした花に結びつけて、「人」のあり方を説かれます。口先だけでいいことを言っても、実際に実行しなければ何も実らない。選挙演説においても、広告や宣伝にしても、人を引きつける「言葉」が飛びかいますが、実際にその「言葉」や「宣伝文句」が本当か、実行されたか、となると怪しいものがたくさんあります。

言葉で人を引きつけたり、誘ったり、「嘘をつく」ことだけでなく、立派な意見や発言も、それがその通り実行されてはじめて意味が生まれます。

「ネット社会」の今、様々な発言や意見がネット上に飛びかっています。素晴らしい意見 もありますが、どうやって実現するのか分からない、無責任な意見もたくさん見られます。

「有言実行」(ゆうげんじっこう)の精神、言ったことは必ず実行する、言ったことに責任を持つ、という精神は忘れたくないものです。

## 仏教豆知識 85 曼荼羅

曼荼羅(まんだら)というと、たくさんの仏様を描いた「画像」を思われる方が多いと思います。「曼荼羅」の言葉の本来の意味は、「円盤」「集まり」「本質を得る」ということで、密教では、世界は大日如来の現れで、その世界を悟りの境地で見た時、見えてくるのが「曼荼羅」とされます。知徳を表す「金剛界曼荼羅」と、慈悲を表す「胎藏界曼荼羅」があり、その画像は仏様の世界を表し、信仰の対象となります。また、「斑点模様」の「まんだら」は、曼荼羅に由来すると言われます。

## < 主管所感 >

### 何が起こるか分からない

友松浩志

暑い夏の入口、安倍元首相の襲撃・暗殺事件には驚かされた。安倍家が浄土宗の檀徒という関係で、増上寺の年頭の会にはいつも参詣されていたので、遠くからそのお姿は拝見していた。誰も「明日の我が身」は予想出来ないものだが、本当に「何が起こるか分からない」世の中である。

この夏は、コロナの感染拡大で、いろいろ計画はあっても、なかなか実行できない夏になりそうだ。昔、山登りをさかんにやっていたので、少し歩いてみようかと、パソコンでユーチューブなど開いて見ると、ライブで山の様子が見られる。

一番ポピュラーなのが、上高地のカップ橋のライブだろうか。正面に奥穂高を望む岳沢の風景。行き来する人達の姿を見ていると、まるで自分がそこにいるような気分になる。ユーチューブには、〇〇山登山といったドキュメンタリー画像があふれていて、登山口から頂上まで、一緒に登っていくような気分で「登山」を楽しむことができる。

現役時代、最も苦しく困難だった「槍ヶ岳・北鎌尾根」さえ、女性の単独ドキュメント画像がある。(とはいえ、それは無雪期の画像で、こっちは冬に登っている。)そんな、憎まれ口を言いたくなるほど、「うらやましい画像」ばかりだ。

そして一方の現実、中高年登山者の遭難事故の頻発。昔の体力はとっくに喪失して、感覚もにぶった身体で、かつてのように登れるわけがない。「何が起こるか分からない」世の中どころか、「何が起こるか分からない」自分の身体をかかえて、いったい何がこれから出来るのか。

安倍さんの功罪はともかく、ああして最後まで「一心に」働かれた姿を思う時、やはり「自分の思い」を貫く意味を考えさせられる。「もう一度あの山へ」、心も身体も準備できるなら、そんな自分も悪くはないのかも知れない。

## ■ 西墓地別院 ・ 合同墓のご案内 ■

— 新しい形の合同墓が西墓地に完成 —

— 昨年、西墓地別院が出来ましたが、懸案だった「合同墓」が、5月に完成しました。東墓地には以前から「合同墓」がありますが、西墓地にはなく、また近年「樹木葬」や、「公園墓地」といった形式が普及するなかで、新しい形の「合同墓」をどんな

ものにするか、長く建築関係の方と検討を重ねてきました。



完成した「合同墓」は半地下形式で、半円形をしています。大人が降りて入ることも出来ます。(写真:左側が入口)一部ベットの区画もあり、採光窓があるため光が入ります。

鉄筋コンクリートの、しっかりとした構造で、上面には地蔵菩薩像が数体飾られています。この地蔵像は、戦前は墓石として使用されていたもので、いずれも江戸時代の作です。(戦後、神田寺の庭に保管されていました。)まだ植採は充分ではありませんが、いずれは緑で全面をおおって小さな林のようにする予定です。(供養・使用費用等は別途お知らせ致します。)



△ 墓地側から見た西墓地別院



△ 法事も行なえる2階の礼拝堂

## <真理ニュース>

◆**彼岸会** 孟蘭盆会と同じ対応で、以下の通り実施します。

①**法要参加** 9月23日(金)午前10時・12時・午後2時の3回、西墓地別院で法要を行ないます。

(各回先着20人、東墓地の方も参加できます。)

・当日は**自由墓参**とし、両墓地ともお墓での読経を随時行ないます。両墓地で、お土産のお寿司を用意しております。(午前9時～午後5時)

②**卒塔婆供養** 同封の葉書(秋彼岸会塔婆供養申込書)でお受け致します。

・先祖供養塔婆は、1本：3000円です。(振込用紙をご利用下さい。)

・戒名を入れた個別供養塔婆をご希望の方は、別途官製はがきでお申込み下さい。(個別供養塔婆は1本：4000円です。)

◆**真理舎の会** 10月14日(金)午後1時30分～3時 神田寺仏間にて

12月9日(金)午後1時30分～3時 神田寺仏間にて(兼・成道会)

・主管による分かりやすい仏教講話があります。お気軽にご参加下さい。

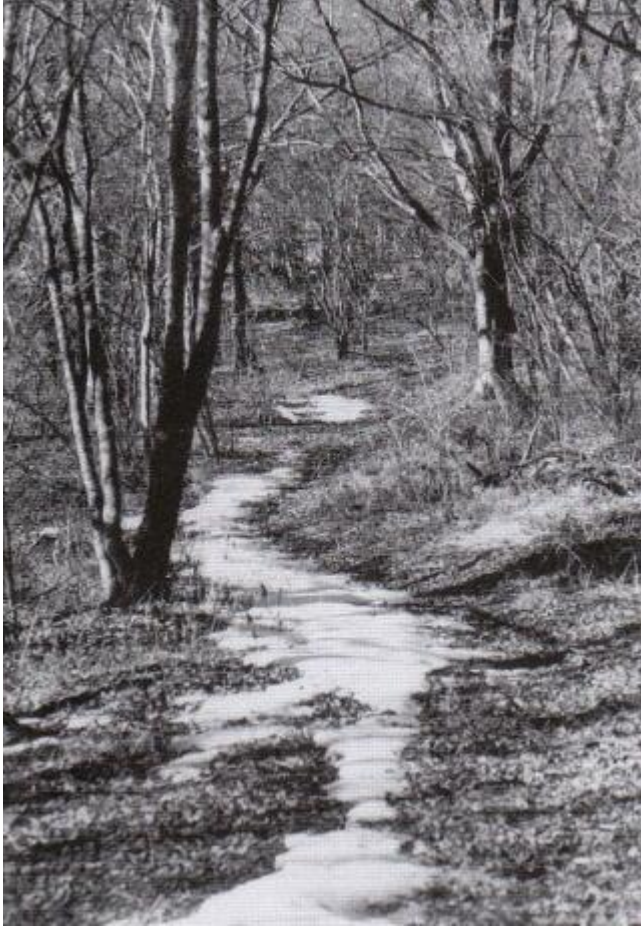
※今号の発行が大幅に遅れましたこと、お詫び申し上げます。

「真理通信」はこれまで、3月・7月・12月の年3回の発行を心掛けてまいりましたが、今回8月の発行、9月の発送とさせて頂くこととなりました。次号以降の発行については、前号との間隔などを考え、3月・8月・12月の発行とさせていただきます。

## 叙景 表紙を語る

冬枯れの道に、昨晚ふった少しの雪が、所どころに残っている。そんな季節になってきました。

見通しのよい冬の林のなかを登れば、冬の澄んだ空のかなたに、遠い山並みも見えるかもしれません。コロナやくすんだ政局、戦争の恐怖、そんな年の終わりに、新しい年への期待をもって、それぞれの歩みを進めたいものです。



一 (ひと)かかえほどの盤石 (いわいし)

風にゆらぐことなし

かくのごとく

心あるものは

そしりと

ほまれとの中に

心うごくことなし

(法句経 81)

### ◇ 新・法句経講義 67 ◇

<※ 「新・法句経講義」は、巻頭ページ掲載の法句経について解説しています。>

大リーグの大谷選手の目ざましい活躍が、今年の何となく鬱屈した日本の世相に、一条の明るさを届けてくれたような気がします。

あれだけの活躍をしたんだから、もっと年俵をもらっていいとか、もっと強い球団に入ればいいのか、様々な世評がある中で、案外淡々とした対応をしているのも好感が持てます。

人は誰でも、人の意見に左右されます。ほめられれば嬉しい、けなされればガックリします。過剰にほめられて舞い上がり、失敗する人もあれば、酷くけなされて失望し、落ち込む人もいます。

お釈迦様は、そうした人の心もよくご存じです。大きな岩のように、しっかりとした「自分」を持っていれば、誰から何を言われても、グラつくことはない。自分は何がしたいのか、自分の言いたいことは何なのか、自分の思いをしっかりと持っていれば、その思いは変わるはずがない。

ネット社会になって、様々な意見が乱舞しています。聞きかじりの勝手な意見も、山のように書き込まれてきます。そうしたものに左右されていたら、一歩も前に踏み出せない社会になりつつあります。

今こそ、「風」にゆるがない大岩のような「自分」を持ち、その思いを貫く、そんな気構えが必要な時代なのかも知れません。

## 《 圓諦忌の延期 》

### 友松圓諦師 50 回忌

(神田寺一世轉法輪春譽圓諦大和尚)

本年(令和 4 年)は、神田寺初代主管・友松圓諦師没後 50 回忌にあたります。命日の 11 月 16 日に、式典および講話会を開催する予定でしたが、コロナの感染状況が相変わらずのため、取り敢えず来年の同日に延期することと致しました。来年、改めて詳細をご案内致しますので、ご了承の程お願い申し上げます。

### 〈 主管所感 〉

LET IT BE

友松浩志

今年の夏ごろから、何となく気分がすぐれない日が多くなって、結局、今はやりの心療内科に通うようになった。夕方から夜になると不安になって、夜道も下を向いて歩くようになった。坊主頭の大人の大人が、下を向いて黙々と歩いてきたら、すれ違う相手の方こそビクビクしそうなものだが、こっちの方がビクビクしている。

年齢とともに、確かにいろいろな不安が広がってくる。これから何年生きるのか、家や家族はどうなるのか。考え出したら際限がない。片づけたいものは山ほどあるし、生活のやりくりだって簡単ではない。

そんな「気持ち」を抱きながら、仕事の帰りに、郊外の小さな喫茶店に入った。今どき「喫茶店」自体が珍しくなったが、席に座ると音楽が聴こえてきた。何と、ビートルズの"LET IT BE"である。懐かしい。何年ぶりに聴くだろう。しばらく聞いていて、ふと「LET IT BE って何だろう？」その意味が知りたくなった。何となく分かる英語だが、本当の意味は？

帰りの電車の中で、スマホで検索すると、いくつかの意味が出てきた。「解散」の危機にあったビートルズ、その葛藤のなかで、ポール・マッカートニーの頭に浮かんだ言葉。「あるがままを受け入れなさい」「なるがままでもいいんだよ」、そんな意味が込められていることが分かった。そしてそれは、先日私が心療内科の先生から言われた言葉そのままだった。あせらず、今日をそのまま受け入れる、その日を心をこめて過ごす、それが不安を取りのぞく第一歩と言われた。

「婚活」ならぬ、「終活」という言葉が飛びかうなか、そんな話を先日のお彼岸の日、法要のあととさせて頂くと、お墓の将来が心配で、そんなお話もたくさん伺った。確かに、いろいろな不安がある。でもまず、「今日」という一日を「あるがままに、なるがままに生きる」「一生懸命に生きる」。そこから、未来は始まるに違いない。

仏教豆知識

86

五体

五体満足(ごたいまんぞく)という、身体のすべての部分がそろっていて、整っていることを言いますが、この五体というのは仏教語で、身体を五つの部分に分けて、頭、両手、両足のことか、頭、首、胴体、手、足をさすと言われます。

古代インドにおいて、最高の敬礼の方法が「五体投地」(ごたいとうち)の作法で、両膝、両肘、頭面の順に地面につけ、両掌を上に向けて地面から少しあげ、相手の足を頂くようにする作法です。現在でも、インドの仏跡参拝をすると、そうした作法をする人達があり、日本の仏教の作法にも、その一部が伝承されています。

### ■ 令和 5 年 年回表 ■

(没 年)

1 周 忌	令和 4 年
3 回 忌	令和 3 年
7 回 忌	平成 2 9 年
13 回 忌	平成 2 3 年
17 回 忌	平成 1 9 年
23 回 忌	平成 1 3 年
27 回 忌	平成 9 年
33 回 忌	平成 3 年
37 回 忌	昭和 6 2 年
43 回 忌	昭和 5 6 年
47 回 忌	昭和 5 2 年
50 回 忌	昭和 4 9 年
70 回 忌	昭和 2 9 年
100 回 忌	大正 1 3 年

○土日に法要を希望される方が多いため、予約は電話でお早めをお願い致します。

参加人数、塔婆をあげる方のお名前などは、1 週間前までにお知らせ下さい。

当日は位牌をご持参下さい。お寺に車 2~ 3 台駐車可能。タクシーも呼べます。

○西墓地別院での法要をご希望の方は、必ずその旨のお申し出をお願いします。

東墓地の檀家の方でも、西墓地別院で法要を行なうことが出来ます。

なお、他の法要との関係で、実施できない場合もありますのでご了承下さい。

## ◆ 夏を楽しむ ◆

### —コロナの夏に一—

コロナの影響で、ずっと実施出来なかった真理学園幼稚園の「お泊まり保育」ですが、今年は工夫を加えて、何とか実施することができました。盆踊りや夏まつり、肝試しや花火大会、そしてみんなそろっての宿泊や園外活動と、貴重な体験が出来ました。

神田寺幼稚園では、感染状況が悪化して、宿泊は見送りましたが、園外活動や肝試し、ピザパーティーや花火大会と、夏の思い出をみんなで作ることが出来ました。

神田寺幼稚園では、冬にもお泊まり保育の計画がありますので、感染状況を見て、実施出来ればと思います。



△ 手持ち花火も楽しみました。

## ◆ コロナ対策の日々 ◆

コロナの感染状況は一進一退ですが、両園とも万全の対策をとりながら、保育を進めています。一部、学級閉鎖や職員の入替などを行っていますが、今のところ大きな感染もなく、行事なども縮小したり内容を一部変更していますが、子ども達の経験の幅が広がるように、一層工夫していきたいと思えます。ご協力よろしくお願い申し上げます。



△ フェースシールドを使った発表会



△ 間隔をあけての昼食風景

## <真理ニュース>

### ◆ 圓諦忌

令和4年11月16日に予定していた圓諦忌は、コロナのため、来年（令和5年）に延期致します。

### ◆ 年末・年始

神田寺事務所の業務は、令和4年の年末は12月27日まで、令和5年の年始1月5日よりとなります。

### ◆ 修正会

1月1日(日)午後2時より、神田寺会堂で行ないます。新年の平和と安寧をともお祈りします。どなたでも参加出来ますので是非お誘い合わせてご参加下さい。※コロナ対策のうえ、実施致します。

### ◆ 彼岸会

春のお彼岸は、3月21日(火)に実施します。開催方法については、後日詳細をご連絡申し上げます。

(塔婆は、事前申込みでご用意する予定です。)